

### 年頭のあいさつ

町議会を代表いたしまして、新年の御挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルスの発生から4年目を迎えても、いまだ感染の大きな 波を繰り返しており、さらには、原油価格・物価高騰により、なかなか 先が見通せない状態で新年を迎えることになりました。

そのような中、町民生活の安定・安心を支えるため、二元代表制とし ての議会の役割を果たすべく、執行機関に対する監視機能を充実し強化 するため、議員一丸となり全力で取り組んでまいりますので、町民の皆 様には引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。 新型コロナウイルス感染症の収束と新たな災害のない穏やかで幸多き 年となりますよう御祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



松 則 明 議長

願」が提案されました。

般質問には6議員が登壇し、

ました。今期定例会には、

令和4年12月定例会は、

# 会

び

大槌町長の選挙に

◎条例の制定・改正

大槌町議

会議員及

おける選挙運動の公

金  $\nabla$ ·大槌町 一等審議 最会条例の制造上下水道製 制料

(全員賛成・原案可決)

億4千655 予算の総額を1

万

31日・令和5年第1回臨時会

議会運営委員会

議会全員協議会

(全員賛成・原案可決)

ことを目的に選挙運 費負 を制定するもの。 に伴い、 0) の 日に施行されたこと律が令和2年12月2の一部を改正する法の制定…公職選挙法の制定…公職選挙法 の の負担軽減を図る 公費負担を拡大 町村選挙候補

- 員の定年こつ x 後の一部を改した 正する条例…令和3 」と 正する条例…令和3 」 の。 所要の改正をするも げられることに伴い、 的に65歳まで引き上 令国 和家 和5年 職 公務員と同様に 員の 度から段階 定年等に 関

に設水道、 2号)第1条の規定に(昭和27年法律第29 制定するもの。 を定めるため条例 一づき、 料金等審議会の 地 組織及び運営 方公営企業法 必要な事 大槌町上 を項 下 いて、  $\nabla$ 線 (全員賛成·原案可

\*

予算

(全員賛成・原案可決)

令和4年度 大槌

> 16日・令和4年第5回臨時会 13日・議会運営委員会

合同常任委員会

決

5日·大槌町自治功労者表彰審査

議会報編集特別委員会

2日·12月定例会 (~8日)

12月

自立圏共生ビジョン懇談会

料金)、 7 歳 の方 ター等の指定管理料 6号)を定めること… 1 に係る光熱水費 大槌町文化交流 創生臨時交付金等・ルス感染症対応地 般会計補正予算(第 82万3千円を追 入歳出予算に6千 計上により補正し、 新型コロナウ (電気 アセン 23日·合同常任委員会 27日・合同常任委員会 11日・合同常任委員会 8日・令和5年大槌町消防団防火 20日·大槌町自治功労者表彰式

1月

会議

例の制定のほか、4年度の各会計の補正予算など、報告1件、議案16件が提案 されました。また、「消費税インボイス制度の実施凍結または中止を求める請 大槌町議会議員及び大槌町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条 「大槌町男女共同参画推進計画」の策定に係る報告 12月2日から8日までの7日間の会期で開催され 町当局の姿勢や施策をただしました。

契約の締結

12月定例会議案

ピックアップ

契約をするもの。 結…町道臼澤高 緑橋梁整備工事にお結…町道臼澤高清水>工事請負契約の短 伴う請負額の 工事請負契約 、各工種数量精査・一町道臼澤高清水・町道臼澤高清水 変 更

> 18日 11 日 9日 8日・岩手県町村議会議長会第3 · 令和4年11月岩手県沿岸南 11月 大槌町ネットワーク交流会 部広域環境組合議会定例会 回政務調査会 (東京都) (東京都)

22日・令和4年11月岩手県後期高 合同常任委員会 齡者医療広域連合議会定例

30日·令和4年度釜石·大槌定住29日·議会運営委員会

議会の 動

・第13回大槌高校魅力化構想 齢者医療広域連合議会臨時 令和4年12月岩手県後期高 おおつち議会だより 170号 令和5年2月6日

令和5年大槌町成人式

6 千円とするも (賛成少数・原案否決) Ŏ,

正予算 (第2号)  $\nabla$ 令 (全員賛成・原案可決) R保険特別会記 予和4年度大器 計槌 補町

水▽ 道事 令 第2号) 和 業会 4 年 計度 i 補 正 予

(全員賛成・原案可 決

予 算  $\nabla$ 水 令 道 和 7道事業会計補正P和4年度大槌町 (第2号)

(全員賛成・原案可 決

## ◎その 他

納者に対して、償還を援護資金貸付金の滞< 求める訴えを別納者に対して、 める訴えを提 起す

(全員賛成・原案可 決

## ◎計画 の 策定

# 報 \*

係画  $\nabla$ る報告 推進計画」の策定に 「大槌町男女共同参 誰も が 個

つ計画的に推進する男女共同参画なる男女共同参画ない の実現を目指し、町の実現を目指し、町の実現を目指し、町の実現を目指し、町の実現を開発を立場で参画で 思己の ために策定したもの。 の能 として尊重 あらゆる分野に対に基づいて発揮で 力を自ら 総合的か 総合的か 推進する さ でき対に対 で意自

\*

[岩手県商工団 は制◎ 会会長 関沢 淨 中 度消 H止を求める請願度の実施凍結また 消費税インボイス 体連

(賛成少数・不採択)

# 4 口 臨

案され、 時会は さ会令 れば和 104月年28第 ました。 議案2件 2件が提開臨

# \*

 $\nabla$ □条例の一部な>大槌町立図書 を書改館 正設

(第3号)

の。一のである、指立る、指立る、指立 者す 制る 指度条 来務につい 性及び管理者 に定管理者 に 改正をするも 例 入指 者に定 て者におき

员成多数 原案可

油価格・物価高騰の影滞への生活支援を行うため及び電力・ガラため及び電力・ガラため及び電力・ガラため及び電力・ガラをが大きい低所得勝による負担増を踏まえ、特に家計への生活支援を行めに補正し、歳入歳のに補正し、歳入歳のに補正し、歳入歳 出予算に1億2 世帯へ支援を行 が大きい低 が大きい低 が大きい低 5 億 予 9 般会計補正予算(第) 号)を定めること… 4 円を追 8 7 3 追加し、1億2千3 を1 0

\_とするも (全員賛成・原案可 正介▽ 護 令

### 第 5 :臨 時 会

案されました。 催時 さ会 令 れば和 124 月 年 16第 議案3件 3件が提開 開臨

# \*

等の予算を取り下げ、ター等の指定管理料大槌町文化交流セン 否決となった一般会において賛成少数で令和4年12月定例会 ▽ 令 計補正予算につい 分を追加し、 6号)を定めること… る期末手当等の 付金事業」及び岩手県 一般会計補正予算 「出産・子育て応援交 事委員会勧告によ 和 4 再度提 増 槌 て、 額 町

(全員賛成・原案可 **啶保険特別会計域** 〒和4年度大槌町 補町

> (全員賛 成 原 案 可

決

援 ▽ 後護資金貸品を登ります。 付起 : 金 の災

を納水者

するも

め に

る訴 対

えを提っ て、

起 還

L

償

(全員賛成・原

案可

決

滞害

れ、賛成少数で否決と料について疑義が出さ 般会計補正予算 なりました。 町はそれを受け、 和 4年度大槌町 大槌町文化交 (第6

槌町文化交流センター 等の指定管理料等の 大 ことから、

## 定例会・臨時会議員出欠表

	–	17.3.2			HJ2. 2	`	`-`		
議			第4回	4回臨時会		12 月定例会		第5回臨時会	
議席番号	議員	議員氏名		10/28		12/2 ~ 8		12/16	
号			出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席	
1	菊池	忠彦	1	0	4	0	1	0	
2	臼澤	良一	1	0	4	0	1	0	
3	佐々	木慶一	1	0	4	0	1	0	
5	澤山	美惠子	1	0	4	0	1	0	
6	阿部	三平	1	0	4	0	1	0	
7	東梅	守	1	0	4	0	1	0	
8	阿部	俊作	1	0	4	0	1	0	
ç	東梅	康悦	1	0	4	0	0	1	
10	欠	員	_	_	_	_	_		
11	金﨑	悟朗	1	0	4	0	1	0	
12	阿部	義正	1	0	4	0	1	0	
13	芳賀	潤	1	0	4	0	1	0	
14	小松	則明	1	0	4	0	1	0	

議

案

槌町文化交流センター て不透明な部分が多い の指定管理料等につい 可決されました。 臨時会で再度提案 算を取り下 できる説明を求めて 議会は町に対し、 げ、 5

### 令和 4 年 12 月定例会 審議結果等一覧

	,	
議案番号等	議案等	審議結果
報告第 11 号	「大槌町男女共同参画推進計画」の策定に係る報告 誰もが個人として尊重され、自己の能力を自らの意思に基づいて発揮 でき、あらゆる分野に対等な立場で参画できる男女共同参画社会の実 現を目指し、町の取り組みを、総合的かつ計画的に推進するために策定 したもの。	_
議案第 54 号	大槌町議会議員及び大槌町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定 公職選挙法の一部を改正する法律が令和2年12月12日に施行されたことに伴い、町村選挙候補者の負担軽減を図ることを目的に選挙運動の公費負担を拡大することに関し、条例を制定するもの。	
議案第 55 号	大槌町上下水道料金等審議会条例の制定 地方公営企業法(昭和27年法律第292号)第14条の規定に基づき、大 槌町上下水道料金等審議会の設置、組織及び運営に関し、必要な事項を 定めるため条例を制定するもの。	
議案第 56 号	職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例 令和3年に国家公務員法が改正され、地方公務員の定年についても国 家公務員と同様に令和5年度から段階的に65歳まで引き上げられるこ とに伴い、所要の改正をするもの。	
議案第 57 号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 地方公務員法の一部改正に伴い、職員の定年の引上げ等に関し、所要の 改正をするもの。	
議案第 58 号	大槌町議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例 令和4年岩手県人事委員会勧告に鑑み、大槌町議会の議員の期末手当 の支給割合を改定するもの。	可決 (全員賛成)
議案第 59 号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 令和4年岩手県人事委員会勧告に鑑み、一般職の職員の給料月額及び 勤勉手当の支給割合を改定するもの。	
議案第 60 号	大槌町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例 令和4年岩手県人事委員会勧告に鑑み、任期付職員の給料月額及び期 末手当の支給割合を改定するもの。	
議案第 61 号	大槌町会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例 令和4年岩手県人事委員会勧告に鑑み、会計年度任用職員の期末手当 の支給割合を改定するもの。	
議案第 62 号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 地方公務員の育児休業等に関する法律(平成3年法律第110号)の改正 に伴い、職員の育児休業等に関し、所要の改正を行うもの。	
議案第 63 号	大槌町非常勤特別職の職員の報酬に関する条例の一部を改正する条例 大槌町非常勤特別職の職員の報酬に関する条例に「大槌町有線テレビ ジョン放送番組審議会」の委員報酬と「大槌町上下水道料金等審議会」の 委員報酬を追加するもの。	

### 令和 4 年 12 月定例会 審議結果等一覧

議案番号等	議案等	審議結果
議案第 64 号	工事請負契約の締結 町道臼澤高清水線橋梁整備工事において、各工種数量精査に伴う請負額 の変更契約をするもの。	可決
議案第 65 号	<b>訴えの提起</b> 災害援護資金貸付金の滞納者に対して、償還を求める訴えを提起するもの。	(全員賛成)
議案第 66 号	令和4年度大槌町一般会計補正予算(第6号)を定めること 大槌町文化交流センター等の指定管理料に係る光熱水費(電気料金)、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の計上により補正し、 歳入歳出予算に6,782万3千円を追加し、予算の総額を110億4,655万6 千円とするもの。	否決 (賛成少数)
議案第 67 号	令和4年度大槌町介護保険特別会計補正予算(第2号)を定めること 介護予防サービス支援計画書作成委託料等により補正し、歳入歳出予算 に103万9千円を追加し、予算の総額を16億7,645万7千円とするもの。	
議案第68号	令和4年度大槌町水道事業会計補正予算(第2号)を定めること 水道基本料金免除、電気料金値上げによる費用の増加等により、収益的 収支の補正をするもの。	可決 (全員賛成)
議案第69号	令和4年度大槌町下水道事業会計補正予算(第2号)を定めること 燃料・電力価格高騰により、収益的収支の補正をするもの。	
請願第1号	消費税インボイス制度の実施凍結または中止を求める請願 国に対し、消費税インボイス制度の実施凍結または中止を求める意見書 の提出を求められたもの。	不採択 (賛成少数)

### 令和 4 年第 4 回臨時会 審議結果等一覧

議案番号等	議案等	審議結果
議案第 52 号	大槌町立図書館設置条例の一部を改正する条例 指定管理者制度の導入における、指定管理者による管理及び管理者が行 う業務について、所要の改正をするもの。	可決 (賛成多数)
議案第 53 号	令和4年度大槌町一般会計補正予算(第5号)を定めること コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響が継続している状況に鑑み、 子育て世帯への生活支援を行うため及び電力・ガス・食料品等の価格高 騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯へ支援 を行うために補正し、歳入歳出予算に1億2,394万円を追加し、予算の 総額を109億7,873万3千円とするもの。	可決(全員賛成)

### 令和 4 年第 5 回臨時会 審議結果等一覧

議案番号等	議案等	審議結果
議案第 70 号	令和4年度大槌町一般会計補正予算(第6号)を定めること 大槌町文化交流センターの指定管理料に係る光熱水費(電気料金)を取り下げ、「出産・子育て応援交付金事業」及び岩手県人事委員会勧告による期末手当等の増加分の計上などにより補正し、歳入歳出予算に7,728万円を追加し、予算の総額を110億5,601万3千円とするもの。	可決
議案第 71 号	令和4年度大槌町介護保険特別会計補正予算(第3号)を定めること 岩手県人事委員会勧告による期末手当等の増額分を補正し、歳入歳出予 算に29万5千円を追加し、予算の総額を16億7,675万2千円とするもの。	(全員賛成)
議案第 72 号	<b>訴えの提起</b> 災害援護資金貸付金の滞納者に対して、償還を求める訴えを提起するもの。	



質問議員(質問順)	質問事項	掲載項
1 澤山美惠子議員	①町の事業委託のあり方について ②その他事業について	P7
2 臼澤良一議員	①震災伝承プラットフォーム事業について ②森林行政について	P8
3 菊池忠彦議員	①不祥事防止に向けた取り組みについて ②町立図書館指定管理者制度のあり方について ③大槌町都市計画マスタ―プランについて	P9
4 東梅康悦議員	①町の奨学金について ②水田活用支払い交付金について	P10
5 阿部俊作議員	①大槌町条例に対する姿勢について ②学校給食について	P11
6 佐々木慶一議員	①大槌町文化交流センターの運営について ②地域おこし協力隊の今後のあり方について	P12

下記QRコード、または、7P~12Pの議員の顔写真の下にあるQRコードから、一般質問の録画画像(ユーチューブ)が視聴できますので、ぜひご利用ください。



大槌町議会チャンネル QRコード



ユーチューブに配信し ている画像イメージ

### 町の事業委託、 特定事業者に集中

## て一極集中になっている

澤山美惠子議員



体と複数契約することは ルール上、何ら問題はな 等の理由から随意契約を している。事業者が自治 実施できるものがいない 選定業者以外に業務を 町内事業者の参入を

の確保に努めていく。 促しつつ、契約の透明性

ないとの認識なのか。 【問】「一極集中」は問題 【答】(平野町長)

については注意していく になっている。随意契約 で見極めることが必要だ が、結果として一極集中 随意契約は特別な契約

7千万円。昨年度は13事

約1億円で、うち11

ど5事業で、総額約1億

センター指定管理業務な

今年度は大槌町文化交流 事業者に集中している。

【問】町の事業委託が特定

について

町の事業委託のあり方

当局はこの事業者への

「一極集中」を強めている

なぜこうなったのか。

【答】(平野町長)

事業は随意契約である。

ルソーシャルワーカーな 外国語指導助手、 ワクチン接種会場誘導員 サート運営、新型コロナ 教材開発、ピアノコン 地域おこし協力隊支援事 震災伝承の語り部育成と 務局、移住定住事務局 【問】昨年度の随意契約は 中には数千万円の事 スクー

> 業もあるが、この事業者 にしかできない事業だっ

【答】(太田企画財政課長) なかった。 その事業者にしかでき

年度委託で、数千万円か 定住事務局なども行うと 予定で、2024年から は、「中間支援カンパ 年先の委託先が決まって ら億単位の事業だが、 いう。これら事務局は単 協力隊を受け入れ、 隊員がカンパニーを設立 いる。この事業者ととも 11月に開いた、地域おこ している地域おこし協力 に移住定住事務局を受託 二―構想」が記載されて し協力隊説明会の資料に 【問】当局とこの事業者が

地域おこし協力隊から卒 いるのか。 【答】(岡本産業振興課長) 中間支援カンパニーは

るソフト事業を特定事業 者やその周辺だけに丸投 【問】まちづくりに直結す

環境づくりをしていきた ちづくりに参画いただく げしていいのか。 【答】(平野町長) 広く多くの方々に、

乗合タクシーについて

運用した上で、利便性を 増えるとは思えない。こ それぞれを微調整して 高めていってはどうか の2つを思い切って一体 いったところで利用者が バスはどちらも不便で 【答】(太田企画財政課長) 【問】乗合タクシーと町 現状維持で考えている。

町内を走る乗り合いタクシ

いても約束しているわけ る。移住定住事務局につ 上げたいという構想であ 業後、自分で会社を立ち

担させたり、 整備費や管理運営費を負 り方の方針を定める」と 要性も含めた遊び場のあ のことであるが、 問】今後は 管理運営さ 「遊具の 住民に

り推進課長) 【答】(郷古協働地域づく そういったことは想定

# センターについて 元気なふるさと応援

な再開時期は。 ないとのことで、 係から再開には至ってい きたが、人員配置等の 議会として協議を進めて 【問】委託先を社会福祉協 具体的

# 【答】(平野町長)

年度内の調整が困難との けて協議を進めていく。 こと。来年度の再開に向 社協では増員も含めた

遊び場整備検討事業に

せたりしないか。

# 臼澤 良 議員

# 

震災語り部の育成について

町

認定語り部として登録

【答】(郷古協働地域づく

年度10人としているが現

2022年度5人、20 り推進課長) 23年度10人に変更した。 2021年度まで0人

見本

り推進課長) る場を設けてほしいが。 のテキストは昨年度、特 た。議員に配布・説明す 定団体に委託して作成し 【答】(郷古協働地域づく 【問】基礎編講座と研修用

について

(2)旧庁舎と旧民宿跡地

えて議員に示したい。 者同士の学び合いを通し 的に作成した。 て気づきを促すことを目 研修用テキストは参加 説明も添

【問】語り部の認定者数の

当たらない。町長は二つ 作ると発言したが。 の跡地にモニュメントを メント」などの文言は見 整備」とあるが、「モニュ 【問】今年度の計画には AR·VR技術を用いた

町の震災伝承の担い手と 部として登録してもらい

して活動してほしい。

町に帰属し、町が所有・

作成した一切の成果は

管理する。町の認定語り

は3年間の事業終了後は

どうなるのか

【答】(平野町長)

り部や、作成する教材に

【問】この事業で育てる語

(1)震災語り部の育成に

震災伝承プラットフォ

ム事業について

ついて、その所有や管理

【答】(平野町長) 家庭や学校での教育や

22年度10人、2023 2021年度5人、20 目標は2020年度3人、

(見本)

実施予定の語り部講座テキスト

内容は。

【答】(松橋教育長)

守ることにつながると考 な教育をすることが震災 全員が語り部になるよう 伝承につながり、 対応している。児童生徒 通安全や火災など幅広く 地震津波のほか交 町民を

したい。 意を得られる方針を提案 き続き検討し、 整備のあり方について引 伝承活動を推進しながら、 町民の合

学園における防災授業の (3) 防災教育について 【問】大槌学園と吉里吉里

1~9年生の全学年が

森林伐採状況(新山)

# 問 森林行政について 森林管理につい

震災伝承の担い手として活動して欲しい

組み内容は、 所有者の意向調査の取り

年度から金沢地区の意向

調査を行う予定である。

全16年間の予定で意向調 り4年間を調査期間とし

査を行っている。

令和 6

【答】(平野町長)

吉里の4地区に分け、令 和2年度から1地区あた 小鎚、金沢、大槌、吉里 令和元年度から町内を

どのような指導を行なっ ているのか。 森林所有者に対し、 ついて、公有及び民有の 【問】森林伐採後の管理に 町

【答】(平野町長)

画書を添付することにし 再造林の計画などを指導 伐採した森林に対しては、 られている。また大規模 況報告の提出が義務付け ている。伐採後は造林状 **害と造林者による造林計** 伐採者による伐採計

## 不祥事続き。信頼回復に向けた取り組みは

## 不祥事防止の取り組みを継続的に行っていく

けた対応を伺う。 見直しを行いながら進め なるよう、随時、 効率化に繋がる仕組みと 上に的確な業務の進捗管 度において、これまで以 り組んでいる人事評価制 されているが、改めてコ るたびに幾度となく議論 ることにしている。 止、そして、事務事業の ンプライアンス遵守に向 昨年度から再構築に取 ミスや誤りの未然防 (平野町長) 制度の

ていなかった。今後はそ

事務を進

めて行きたい。 の点を留意し、

て不祥事が後を絶たない 交付問題の後も依然とし 条例・規則82件の未

> その部分が上手く機能し することが必要であるが りながら事務状況を確認 が、全く過去の反省が活 部下の仕事を日々確認し 行われていないのでは、 的確な業務の進捗管理が かされていないと感じる コミュニケーションを取 【答】(藤原総務課長) それぞれの所属長が、

う趣旨の話があったが 説明し、お詫びするとい 域を回って町民に丁寧に とつとして、町内の各地 町長の責任の取り方のひ 題が取りざたされた後、 【問】条例規則の未交付問

菊池忠彦議員

て言及があったが、 第三者委員会設置に関し とのことから、 めの具体的な施策及び対 因の究明や再発防止のた 応等の検討が必要である 【問】本件に関し、発生原 当局より

その後の対応は 【答】(平野町長

り組みについて

不祥事防止に向けた取

、問】不祥事が明らかにな

びホームページに詳細を があったことから広報及 掲載し謝罪の意を伝えた。 広く町民に説明する必要 この案件に関しては、

# 制度のあり方について町立図書館指定管理者

の責任の所在を伺う。 図書館長であった副町長 活動交流センター所長兼 発覚したが、指定管理者 に係る条例の不備問題が 【答】(北田副町長) 制度のスタート時、 問】町立図書館指定管理

振り方に関しては、 いる。また、自身の身の 処分されるものと思って と相談しながら決めて行 役場内の規定によって 町長

討に資するものだ。従っ 中心とした防災対策の検 動のあり方などソフトを あり、津波からの避難行 等、最悪の条件下で発生 地盤沈下、 に対しては、「大槌町 浸水想定は、潮位、 した津波時の浸水想定で より示された新たな津波 新たな津波浸水想定 防潮堤の破堤

現在に至っている。

波避難計画」の見直しを

【答】(藤原総務課長)

の方向性を以て、 対応をしていきたいと考

# 大槌町都市計画マスタ ープランについ

いて問う。 プランに及ぼす影響につ が拡大したが、マスター 新たな津波想定で浸水域 溝沿いの巨大地震による 、問】日本海溝・千島

【答】(平野町長) 令和4年3月に岩手県 広域

導入を検討すべきと思う 関の乗車運賃割引制度の 措置として、公共交通機 転免許自主返納後の支援 町の見解は

は福祉施策にもあたるの なるが、町の考えとして 割引は事業者との相談に 【答】(太田企画財政課長) 公共交通機関の料金の 今後関係課との協議

# の対応を問う。 からの反発などもあり、 着地点が定まらないまま

係る第三者委員会の答由 条例規則の不備問題に 同様の

フトを中心とした防災対 実施し、避難行動などソ みを行っていく。 策により命を守る取り組 【問】以前から町民バスを

停留所の位置等を鑑みる クロバスでは、 側も運行してほしいとい と、現状では難しいとの が、その後の対応は。 う町民からの要望がある 小型化して幹線道路の内 【答】(太田企画財政課 現在運行しているマイ 安全性や

判断である。 【問】 高齢ドライバーの

### 東梅康悦議員

# 

# 町の奨学金について

り奨学金」であるがその と「大槌町まち・人づく 二つあり「大槌町奨学金 【答】(平野町長) 相違点について伺う。 【問】町には奨学金制度が

学等を卒業後、 り奨学金」は、平成27年 次償還しなければならな 償還を免除することがで 住し就労している場合、 流出抑制を図るため、大 に施行され、高卒世代の い。「大槌町まち・人づく 生以上が対象で卒業後順 成2年に施行され、高校 「大槌町奨学金」は、平 町内に定

【問】 二つの奨学金の成

# 【答】(平野町長

貸付し、うち6名が条件 している。「大槌町まち・ 令和4年度は7名に貸付 災後51名に貸付を行い、 満たし免除中である。 付し、うち4名が条件を 入学一時金は、18名に貸 を満たし免除中である。 資金で、これまで19名に 人づくり奨学金」は修学 「大槌町奨学金」は、

況等を見ながら制度の見 令和7年度に向けて、そ まち・人づくり奨学金」 直しや継続について検討 れまでの実績や財源の状 は給付型であることから 課題として、「大槌町

# 果と課題を伺う。

知する。 象とすることとし広く周 【答】(平野町長)

# について水田活用支払い交付金

外となるがその影響につ されない水田は、 用支払い交付金の見直し いて何う。 で、5年間一度も水張り 【問】今年度、国の水田活 年度から交付金の対象 202

# 携について伺う。 学金返還補填事業との連 【問】産業振興課所管の奨

住促進も重要と認識して 的であり、大槌町奨学金 いる。令和5年度から対 は現在対象外であるが定 外からの移住促進が目 奨学金返還補填事業は

て伺う。 額分への町の支援につい 【問】水田活用交付金の減

だきたい。 ることから活用していた 業緊急支援事業を実施す がら今回の補正予算で農 ることはない。しかしな ことを理由に町が支援す

# 【答】(平野町長)

**台和5年度から対象とする** 

を懸念している。 地の拡大や担い手の減少 減少、さらには耕作放棄 の収入や転作取組面積の 回の見直しにより農業者 設定したものであり、今 務省が基準の明確化を求 国の予算執行調査で財 農林水産省が基準を

措置である水 度までの時限 【問】令和5年

う。 【答】(平野町 業について伺 田の畑地化事

交付単価が減額となった

【答】(岡本産業振興課長)

の取組の選択 肢の一つとし 令和5年産 う。 に関する支援について伺 問】農業者の農地維持

【答】(岡本産業振興課長) 国や県の支援事業の活

業がない場合 用を進めたい。 事業を検討し は、町の単独 適切な事

> 町地域農業再生協議会水 の追加検討を行い、生産 田収益力強化ビジョンへ 者への説明も進める。 て検討できるよう、大槌



転作が進められている様子(金沢地区)

大槌町奨学金・補填助成との連携は

阿部俊作議員

## 学校給食費を無料に

## 国の法律改正を待つ

職の職員を指す。 標記している。 合いで「大槌町職員」と 職も含めた総合的な意味 不祥事に関しては、 職員とは基本的に一般 指摘の 特別

手続きが煩雑・ストレス を感じる等があげられて い・給料が変わらない・ として、・評価されにく 【問】公務員のデメリット

> うなのか伺う。 【答】(平野町長) いるが、当町の実態はど

> > ては、

人事評価制度を導

年功序列、給料に関し 日々の業務に従事するこ の奉仕者として、町のた が、公務員として、全体 応じた処遇が基本となる。 とが、何より大切と思う。 め、町民のためを第一に、 意識が低い等あげられた 前例踏襲主義、業務改善 入しているので、評価に ルール、手続き煩雑、

について伺う。

当町の学校給食の支援

【答】(松橋教育長

食品物価の上昇により

来の展望・希望・理想に 【問】町長が考える町の未



の不祥事。とあるが、職

作成に関する大槌町職員

きに関する大槌町職員の に①条例・規則交付手続

②消防計画の未

【問】大槌町ホームページ

大槌町条例に対する姿

員とは誰を指すのか伺う

答】(平野町長)

金沢地区のケヤキを使用した木製告示板

# 学校給食について

ところもある。 にも影響があり、学校給 途中の子どもたちの将来 食の無料化を進めている りくりが大変と思う。 家庭でも学校給食でもや 食事は命を支え、発育 食品物価が上昇し

も給食単価の据え置きを 変な中、震災後10年間給 学校給食のやり繰りが大 **食費を据え置き、** 今年度

ついて伺う。 【答】(平野町長)

づくりに取り組んでいく。 と誇り」を持ち、 されるが、町への「愛着 おいて厳しいことが予測 の加速に伴い行政運営に に継ぐ希望が持てるまち ていくことが肝要である。 且つ計画的に実行に移し 当町の総合計画を着実 人口減少、少子高齢化 次世代

町全体で未来ある子ども 食費無料を進めてはどう たちを支援するため、 食費無料化が進んでいる。 【問】全国の自治体では給

出来たら進める。 【答】(平野町長) 国でそのような制度が

学校給食への地元食材の活用 (だあすこ)

用を総括的に支援してい 援助制度により、教育費 生活困窮世帯には就学

おおつち議会だより 170号 令和5年2月6日

佐々木慶 一議員

# 

# ターの運営について 大槌町文化交流セン

される計画ではなかった 者による運営費用は削減 令和2年以降の指定管理 営での運営費用に対して 【問】令和元年度までの直

【答】(平野町長

度の設備点検費用が発生 上げ対応、また3年に1 につながった。 に消費税がかかったり、 したため、委託料の上昇 「岩手県最低賃金」の引き 直営と異なり運営費用

利用状況は 営となってからの、 【答】(郷古協働地域づく 【問】指定管理者による運

り推進課長

千人と、利用者が増えて リースペースでは令和2 3年度では約3万人、フ の約2万人に対して令和 貸館業務では令和2年度 きている。 令和3年度では約1万2 年度の約8千人に対して な事業企画・実施により 指定管理者による様々

のようになるのか。 踏まえ、今後の運営はど 運営費や施設利用状況を 【答】(郷古協働地域づく 【問】現状のおしゃっちの (推進課長)

なっている。4月以降は、 令和5年3月末までと 定管理者による運営を継 新たに広く公募の上で指 現在の指定管理期間は

地域おこし協力隊の

要であると考えるが、そ の振興の視点で「地域お こし協力隊」の活動は重

の位置づけは。 【答】(平野町長) 【問】 大槌町における産業 今後のあり方について

組み、 所属し、町内業者と連携 しながら課題解決に取り 町内受け入れ事業者に 最終的には隊員の

続してまいりたい。



大槌町文化交流センター(おしゃっち)

現在までの活動状況は。 【答】(平野町長) 【問】地域おこし協力隊の 現在、ジビエ事業、

うとしている。 動等へも参加し一町民と 業の創出、交流人口の拡 19人の隊員が活動し、事 町内7事業者と連携し、 林業関連、観光関連等で して確固たる地位を築こ には業務以外でも地域活 大に寄与している。さら 光関連、移住・定住関連 観

答 囲の拡張計画は 今後の増員計画や活動範 (問) 地域おこし協力隊の (平野町長)

定住を目標として取り組

地域活性化のために受け入れを続ける

けでなく、「起業型」や地 入れ事業者を拡大するだ 目標とする。 6人程度増員し、25人を 令和5年度末までには 今後は受け

も検討していく。 の間で取り組む「コー り起こしなど行政と地域 ディネーター型」の導入 域の課題解決や事業の掘



地域おこし協力隊

地域おこし協力隊の今後のあり方は

# 委員会活動報告

### 産業建設常任委員会

### 請願審查

去る、12月6日、産業建設常任委員会(菊池忠彦委員長)は、令和4年12月定例会において付託された「消費税インボイス制度の実施凍結または中止を求める請願」について審査を行いました。

インボイス制度の導入により、今まで免税事業者となっていた中小企業や個人事業主には、この制度の導入によって減収と事業コストの増額が見込まれるものであるが、6年間の経過措置が設けられていることや、免税事業者として事業を続けるか、インボイス事業者として登録し事業を継続するかの選択は事業主ができること。また、インボイス制度の導入によって、事業者間での不公平が是正・解消されることや、軽減



請願審査の様子

税率制度による本来の 課税と納税の仕組みに 戻ること等の意見があ りました。

委員会では全会一致 で本請願を不採択とす べきものと決定し、議長 へ報告しました。

なお、本請願は令和4 年12月定例会で提案され、賛成少数で不採択と なりました。

### 議会報編集特別委員会

去る、12月2日、議会報編集特別委員会(阿部俊作委員長)は「おおつち議会だより第170号(本紙)」の記事・レイアウト等について協議を行いました。

町民の議会及び町政への理解と関心が高まるように、議会を挙げてより積極的で効果的な情報発信を行っていきます。



委員会での協議の様子



したいですね。

林業における機械化

継続した支援をお願い 大変厳しい状況のため、

燃料価格の高騰で

は

まさに圧巻そのも

でした。

ピーディーに動く光景 高性能林業機械がス が進展し、さまざまな

## 紙写真の紹介



業~」。 は「働く人シリーズ~林 本号の表紙のテー

撮影した伐採の様子で 写真は、 今回は特別に許可 沢地区で

産協同組合」のみなさん、 うございました。これか ただき、本当にありがと お願いします。 らも安全第一でよろしく 取材を快くお引き受けい 陸中部国 有 林材 生

ただきました。撮影に お話を伺いました。 組合」の佐々木理事長に 中部国有林材生産協同 御協力いただいた「三陸 を頂いて撮影させてい 主にどのような仕

とはありますか。 の伐採なども行います。 れれば、民地や支障木 て行っています。 採・造林を2班に分かれ 事をしているのですか。 町や議会に望むこ 町内の国有林の伐 頼ま









## 会を傍聴してみません

町議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議場で開かれます。

町で今何が課題となっているかなど、議場での議員の活動を実際に見て、知っていただく機会です。 傍聴の手続きは簡単ですので、ぜひ傍聴にいらしてください。

また、定例会の様子は『おおちゃんねる』、「YouTube」でも視聴いただけます。

○3月定例会は3月2日(木) 開会予定です (注:予定は変更される場合があります)

議会報編集特別委員会 委 委 委 員 員 長 委員長 澤山美惠子 三平 菊池 阿部 東梅 康悦 忠彦

思います。今年こそはコロナが 会です。2022年も一向に出 を目指して頑張りますので、 町民の皆様にしっかりと伝わっ みません。 収束し、すべての町民が安定し とっても激動の一年であったと 原油価格・物価高騰など、皆様に 口が見えないコロナ禍に加え、 ているでしょうか? えましたが、予算審議や決算認 た暮らしができるよう願ってや 力している議会報編集特別委員 広報誌にするため、 した「議会だより」です。 定、条例改正審議の報告など、 イトルに一新されて3号目を迎 より」と、ちょっと柔らかめなタ 不安定な世界情勢の影響による し理解をいただくことを目的と さて、 町民の皆様に親しまれる誌 議会の活動状況をお知らせし、 議会「報」から議会「だ

よりわかりやすく読みやす 日々奮闘努

後ともご愛読くださいますよう

今 面

よろしくお願いします。

編

集

後 記